

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 たいよう 組	6 月 14 日 ( 金 )	中筋 涼華

## ● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ～自然～ 公園にあるものをしらべよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
戸外では虫に興味があり、土の下や草の中などを見て探す姿が見られる。見つけた虫を持って帰りたい、お世話したいという声も上がっている。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
9:40～9:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回、行った公園や調べたもの、収集したものを振り返る。</li> <li>・更にどのように調べたのかも振り返る。</li> <li>・今日行く公園には何があるか話し合う。</li> <li>・公園に持って行く図鑑や袋の使い方を確認する。</li> </ul>	<b>【環境設定】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園や園庭など、安全に探索できる場所を選定する。</li> <li>・公園内のルールを確認する。</li> <li>・事前に探索ルートを決め、安全面に配慮する。</li> <li>・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。</li> <li>・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。</li> </ul>
9:50～10:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2グループに分かれて公園で興味のある生き物や植物を探す。</li> <li>・見つけたものを図鑑で調べたり、写真にとったりして記録する。</li> </ul>	<b>【活動使用教材】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポケット図鑑</li> <li>・ペットボトル(枯れ防止)</li> <li>・収集したものを入れる袋</li> <li>・かばん(図鑑を入れるため)</li> <li>・スマートフォンやデジタルカメラ</li> <li>・ホワイトボード</li> <li>・ホワイトボードマーカー</li> </ul>
10:20～10:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達同士で「何を調べているの?」、「ここに載ってるよ」など教え合い、探究活動を進める。</li> <li>・どれを持ち帰れないものは保育者に写真を撮ってほしいと伝えに来る。</li> <li>・公園から戻り、見つけた植物や虫を発表する。</li> <li>・友達の意見を聞いて思ったこと、気づいたことを発表する。</li> <li>・集めた植物や写真をみんなで見る。</li> </ul>	<b>【事前準備】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ ①と同様</li> <li>・植物が多くある公園や場所を選定する。</li> <li>・子どもたちが日頃からポケット図鑑に触れる機会を作る。</li> <li>・スマートフォンやデジタルカメラのバッテリー残量を確認しておく。</li> <li>・探究活動に使用する用具(ポケット図鑑、かばんなど)使用方法をあらかじめ設定しておく。</li> <li>・絵本の作り方を調べておく。(綴じ方)</li> <li>・図鑑見本に載せる植物や写真を用意しておく。</li> <li>・図鑑用の冊子見本を作成しておく。(3～4ページ)</li> <li>・図鑑用の台紙、冊子にするための製本テープ</li> <li>・セロテープやのり</li> <li>・筆記用具(鉛筆、色鉛筆、カラーペンなど)</li> </ul>

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・前回の活動内容の振り返りから始め、子どもたちは、見つけた自然物を思い出した。</p> <p>・目的地の公園へ移動し、到着後は2グループに分かれ、草花や虫を見つけ、図鑑で名前を調べたり、袋に入れたり、撮影した。</p> <p>・調べた情報や写真は、のちの振り返りに活用した。</p> <p>・似た植物がたくさんあると図鑑と植物を見比べながら、細かいところまで観察する姿が見られた。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「図鑑に載っているものと色が違うよ、違うものだと思う」など友達と話し合う姿が見られた。</li> <li>・「これ、前に見たやつと違うよね。」と友だちに意見を交換する姿があった。</li> <li>・「これは触ってもいいものかな」など図鑑で調べる姿が見られた。</li> <li>・「ダンゴムシ持って帰って育てよう」と声が上がったり、「この花は絶対地図に入れる」と自発的に提案していた。</li> </ul> <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動開始時に前回の振り返りを行い、注意することや物の使い方など思い出すことが出来るようにした。</li> <li>・公園で「これはどうしてそうなっていると思う？」と問いかけ、子どもの観察を促していった。</li> <li>・持って帰れるものと持って変えられない物の判断をどうするかなど子ども達と考えた。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・自然物の見方でもいろいろな方面から観察することで観察力や記録する力がついていると実感した。</p> <p>・活動中に疑問に感じたことを友達と共有し合い、答えを探そうとする姿が見られた。</p> <p>・また、振り返りの場では「どんな風に地図にしようか？」と話し合い、子ども達の発言を元に地図づくりの進め方を決めたので期待を持つ姿が見られた。</p> <p>・触ってはいけない虫や植物などを図鑑で調べる際に分かったこともあった。誤った情報を伝えずに、安全に行う事の大切さを再確認した。</p>	<p>子どもたちの気づきや発見が丁寧に拾われ、活動の中で深まっていく様子がよく伝わってきました。「図鑑を見て確かめる」「実際に確かめにいこう」といった探究心が自然に引き出されており、主体的な学びが育まれていると感じます。今後も子どもたちが自ら疑問を持ち、調べたり考えたり出来るよう問いかけの工夫を意識していきましょう。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 たいよう 組	8 月 29 日 ( 金 )	中筋 涼華

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの ~水~ 水がないと困るのはだれ？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
活動を通して水を大事に使う姿が見られるようになってきた。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:30~10:40	・前回、前々回の活動を振り返る。 ・水が使えなくなったらどうなるか考えてみる。	<b>【環境設定】</b> ・調べたり、興味関心を深めたりできるように、図鑑やタブレットを活用できる環境を用意する。 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。  <b>【準備物】</b> ・園の水探索マップ ・水の図鑑 ・水の絵本 ・イラストや写真(魚、植物、動物、人間、調理員、川など) ・iPad、タブレット、PCなど(保育者が調べるために使用) ・紙(記録用) ・筆記用具(鉛筆、色鉛筆、マーカーなど) ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー  <b>【事前準備】</b> ・イラストや写真(魚、植物、動物、人間、調理員、川など)
10:40~11:00	・グループごとに水がなぜないと困るのか考えて、意見を紙に書く。 ・出た意見を発表する。	
11:00~11:10	・水を大切に使うにはどうしたらいいか考える。	
11:10~11:15	・水はいろんなところで、いろんな人が使っていること、水がなくなるとみんなが困るということを確認する。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回の活動内容の振り返りから始め、今回の活動に繋がられるようにする。</li> <li>・グループで困る理由を考えたり、調べたりしたものを共有し合った。</li> <li>・水を大切に使う方法を話し合った。</li> </ul>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「畑で食べ物が育たないと、ご飯が食べられないね」と、水がないことで起きることを連鎖で考える姿があった。</li> <li>・「水がないと困らない人はいないんじゃないかな？」と、話し合っていた。</li> </ul> <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの意見に共感し、一つの意見に対し、もっと深められるように関わった。</li> <li>・身近なものから考えることが出来るように促した。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは、自分の生活を思い出しながら、水がないと困るのは誰か答える姿があった。</li> <li>・友達の意見を聞いて、共感したり、自分の意見を伝える姿があった。他の火との考えも受け入れながら話し合いを出来るようになってきた。</li> <li>・困りごと一つから色々なものに繋がる姿が見られた。</li> </ul>	<p>活動の中で友達の意見を聞いて理解をしようとする姿が見られたことはとても大きな成長だと感じます。自分の疑問と知識だけではなく、友達の意見を取り入れ共に探求することは協調性が育まれより広い視野で物事を捉えられるようになります。今後も大切にしていきたい姿だと感じました。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 たいよう 組	12 月 5 日 ( 金 )	中筋 涼華

● 実施計画

活動テーマ		
アート～色のふしぎ～ これは何色？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
英語で色も行っているため英語で色を言ったりなど色に関心を持つ姿が見られる。色同士を混ぜる事でいろいろな色になる事を知っているので、ない色があった時は自分で作る姿がある。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
10:00～10:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12色の色画用紙から好きな一色を選ぶ。</li> <li>・なぜその色を選んだか、理由を考える。</li> <li>・考えた理由を発表する。</li> </ul>	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちがたくさんの色を見つけやすいように、環境を用意する。</li> <li>・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。</li> </ul> <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12色(赤、橙、黄色、ピンク、青、水色、緑、紫、白、黒、灰色、茶)の色画用紙</li> <li>・赤青黄色紫白黒などの原料の写真(赤…カイガラムシ、青…ラピスラズリ、黄色…クちなシ、紫…アカニシ貝、白…ハマグリ、黒…墨)</li> <li>・寒色暖色中間色の色見本</li> </ul> <p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤、橙、黄色、ピンク、青、水色、緑、紫、白、黒、灰色、茶色の八つ切り画用紙→16等分に切り分ける。(人数分またはグループで1セット)</li> <li>・色の効果、寒色暖色中間色について事前に学習して理解を深めておく。</li> <li>・色の原料について事前に学習して理解を深めておく。</li> <li>・赤青黄色紫白黒などの原料の写真。(赤…カイガラムシ、青…ラピスラズリ、黄色…クちなシ、紫…アカニシ貝、白…ハマグリ、黒…墨)</li> <li>・寒色暖色中間色の色見本をプリントする。</li> <li>・白い画用紙と着色が期待できる素材を複数用意しておく。</li> <li>・色彩心理学に関する資料を用意し、理解しておく。</li> </ul>
10:15～10:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩心理学の説明を聞く。</li> <li>・寒色・中性色・暖色の説明を聞く。</li> </ul>	
10:30～10:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色を見てどんな気持ちになるか考える。</li> <li>・画用紙の色を寒色・中性色・暖色に分ける</li> </ul>	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただ好きな色を選ぶのではなく、理由も発表することで他児の意見に興味を持つ姿が見られた。</li> <li>・色彩心理学や寒色・中性色・暖色についての説明は少し難しかったが、知ろうとする気持ちが多く見られた。</li> <li>・子ども達で画用紙を分ける事で、色の理解が深まった。</li> </ul>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「紫はオシャレな色だから」、「黒はカッコいいから」と自分の好きな色と理由をしっかりと伝える姿が見られた。</li> <li>・暖色と寒色の説明を聞くと、色を見て自分達で分ける姿があった。</li> </ul> <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「この色を見てどんな気持ちになる？」と問いかけながら子どもが考えるきっかけを作った。</li> <li>・暖色と寒色の説明の際に子ども達が分かるような言葉で伝えるようにした。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PREPでも色を行っていたので、学んだことを振り返りながら発言する姿があった。</li> <li>・暖色と寒色の説明を聞くと、色を自分達で分ける姿があった。説明を分かりやすくすることでイメージが付きやすいように感じた。</li> <li>・色を好きな理由を聞いた時に、好きだからだけではなく、カッコいいからやオシャレだからなどしっかり考えて言う姿が見られた。自分の気持ちを言葉で表現することが上手くなってきている。</li> </ul>	<p>色に対してイメージを持って活動に参加し、さらにはイメージを言語化するという場面があることで想像力が広がる経験になったと思います。色彩心理学については多少難しくも、色についての世界を知る良いきっかけになったのではないかと思います。寒色と暖色の説明の際の説明で子どもがイメージしやすいようわかりやすい言葉選びをしたことは素晴らしく、混乱させずスムーズに活動に移行できるきっかけになったと思います。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 たいよう 組	2 月 10 日 ( 火 )	中筋 涼華

## ● 実施計画

活動テーマ		
おかね ～おかねってなんだろう～ お金ってなあに？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
おままごとの中でお金のやりとりや、決済アプリを使用したりなどお金を日常に感じている姿が見られる。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
12:35～12:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お買い物をした時に、何が必要か問いかける。</li> <li>・お金以外の物を使って、買ったことがあるか聞く。</li> <li>・なぜ、何のために、お金があるのか考える。</li> <li>・お金がなかった昔の人はどのようにしてほしいものを手に入れていたのか考える。</li> </ul>	<b>【環境設定】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作り、一人ひとりの意見を尊重し、受け止める。</li> <li>・正解・不正解を明らかにするのではなく、多様な捉え方や考える姿勢・態度を大切にす。</li> </ul>
12:45～13:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品のカードをランダムで一人当たり4枚配る。</li> <li>・自由に模擬商品を交換し、お互いに納得して交換できるか試す。</li> </ul>	<b>【活動使用教材】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬商品(保育室内の玩具など)</li> <li>・ホワイトボード</li> <li>・ホワイトボードマーカー</li> </ul>
13:00～13:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を振り返り、発表する。</li> </ul>	<b>【事前準備】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手に持って交換できる模擬商品を用意しておく。玩具以外にも、イラストや写真(本物と見立てる)などの活用も可。(玩具、食べ物、服、家、車、お店屋さん、水、砂、石など)</li> </ul>
13:15～13:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交換がうまくいかなかったものを、何となら交換できるか、どのようにすれば解決できるか考える。</li> <li>・大昔、お金の始まりは貝殻であったことを伝える。</li> <li>・次回は今の日本のお金について、調べてみることに触れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「物々交換しやすいもの」と「物々交換しにくいもの」を用意しておく。</li> <li>※物々交換しやすい商品例： 玩具、(手で持てる)食べ物、服</li> <li>※物々交換しにくい商品例： 家・車(運べない)、電気(持てない)</li> </ul>

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物の経験を振り返り、買い物に必要なものを話し合った。</li> <li>・お金以外の物を使った買い物や交換の経験について問いかけ、物々交換への興味関心を高めた。</li> <li>・商品のカードを配り、自由に交換活動を行った。</li> <li>・交換がうまくいかなかった場合には、条件を変えたり組み合わせを工夫したりして解決を図った。</li> </ul>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ロボットは好きだからサッカーボールだけじゃ交換できない。」と自分の気持ちを伝える姿があった。</li> <li>・「けん玉はだめだけどゲームとだったら交換してもいいよ。」と条件を言っていた。</li> <li>・「昔の人はお金が無くても交換できたんだったら楽しかったのかな？」と疑問に思う姿が見られた。</li> </ul> <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どうして交換したくなかったのかな？」といった問いで、子どもたちの考えや思いを深掘りした。</li> <li>・それぞれの考えを否定せずに、気持ちを受け止めながら関わった。</li> <li>・子どもの発言を聞き逃さずに、話が発展するようにした。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔はお金がなかったことから、物々交換するのは大変なやり取りだったんだなと感じる姿があった。</li> <li>・物々交換やレートが高い物など想像していなかった言葉が子ども達から出てきて驚いた。</li> <li>・お金がなかった時は時間が掛かった物が高いのではないかなど想像しながら考える姿が見られた。</li> </ul>	<p>お金が出来た由来まで話し合いが進んだことは素晴らしいと思います。流行りのもので「レート」という言葉を使い物の価値について意見を交換出来たことは、自分の知識を相手に伝えることの自信になったことと思います。</p>